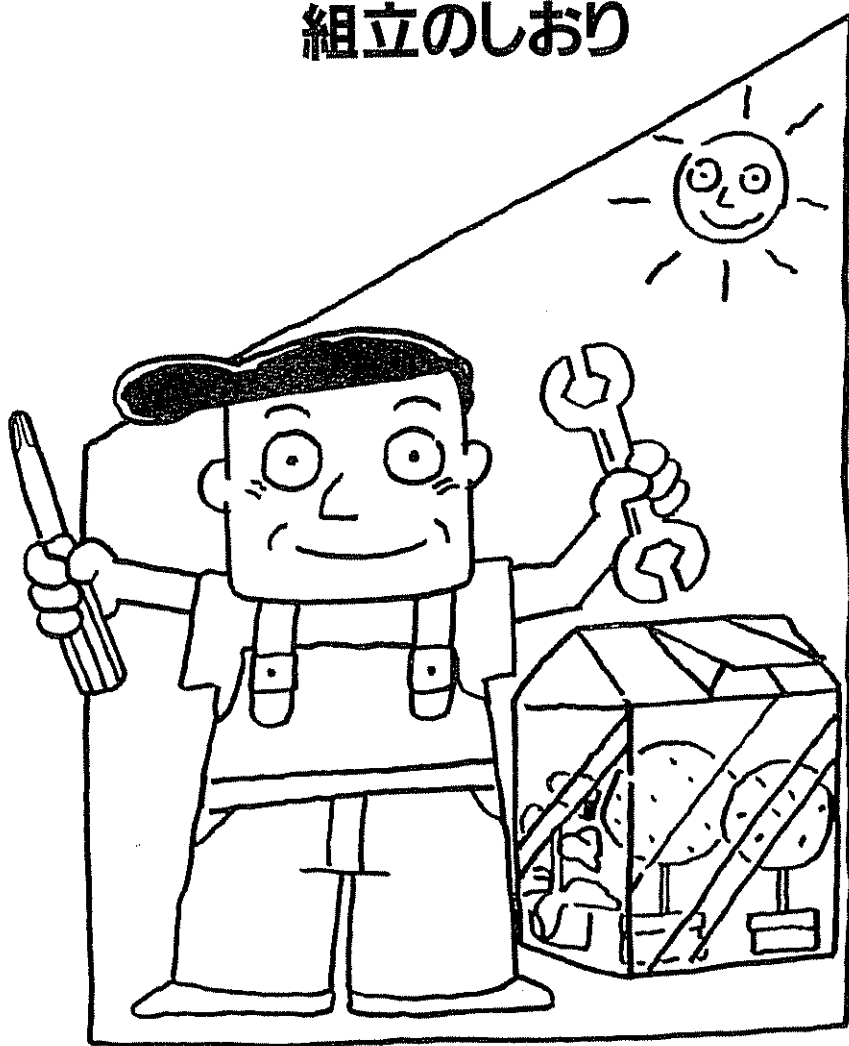


家庭用アルミ温室

ブルーノホフ

ホ ワ イ ト
ピカ 5

組立のしおり



ピカ コーポレイション

この度は、家庭用アルミ温室 **ぴちカ5**

正しく早く組み立て、末長くご愛用いただくために。

- ① まず「組立のしおり」をよくお読み下さい。(梱包部品Noが組立説明に常に出てきますので、この頁を参考にしながら組立手順にそって進んで下さい。)
- ② プラスドライバー 2 番とスパナ (#10) をご用意下さい。
- ③ このページの表にもとずいて、梱包をチェックして下さい。(「ぴちカ5」の本体は、梱包05 T、梱包10 S、梱包05 Y P の3種類で5 梱包です。)
- ④ 次に3～4 頁の組立て順序 Step 1～完成までの大きな流れを確認して下さい。
- ⑤ それでは5 頁の Step 1 から順に沿って組立てて下さい。
- ⑥ ブロック基礎仕様にされる場合は、最終頁のアンカー寸法及び完成寸法図を参照して下さい。



梱包05 T 妻^{つま}パネル(2 梱包) 品名コード 63WP05T×VC

No.	名 称	形 状	寸 法	数 量	備 考
①	妻 ^{つま} パネ ^ル		W900×H1978	1	

梱包10 S 引^ひ戸^と障^い子^じ(2 梱包) 品名コード 63WP10S×VC

No.	名 称	形 状	寸 法	数 量	備 考
②	引 ^ひ 戸 ^と 障 ^い 子 ^じ		W1673×H1462	2	外・内障子各1枚づつです

をお買いあげありがとうございます。

梱包05YP 屋根・天窓^{てんそう}・部品(1梱包) 品名コード 63WP05YPVE

No.	名 称	形 状	寸 法	数 量	備 考
③	屋根パネル(天窓のない側)		W1700×H 583	1	
④	屋根パネル(天窓側)		W 569×H 583	2	
⑤	天 窓		W 581×H 567	1	
⑥	上 枠(天窓側)		1681mm	1	 穴位置が異なります。
⑦	上 枠(天窓のない側)		1681mm	1	
⑧	下 枠		1681mm	2	
⑨	棟 木		1681mm	1	
⑩	天 窓 開 閉 装 置		(WP3514)	1	
⑪	棟 木 端 カ バ ー			2	
⑫	ブ レ ース セ ッ ト		大=1400mm 小= 735mm	2セット	筋カイ長短各1本、ターンバックル1個で1セットです
⑬	吊 り 鉢 用 金 具		厚さ 3mm	3	
⑭	ア ン カ ー ボ ル ト		M 8×100	4	
⑮	六 角 ナ ッ ト		M 8	8	
⑯	角 座 金		M 8	4	
⑰	天窓ヒンジ端カバー			2	左右各1個ずつです
⑱	組 立 ネ ジ セ ッ ト			1	明細は下表です
㉑	天 窓 ヒ ン ジ		602mm	1	

⑱組立ネジセット明細表

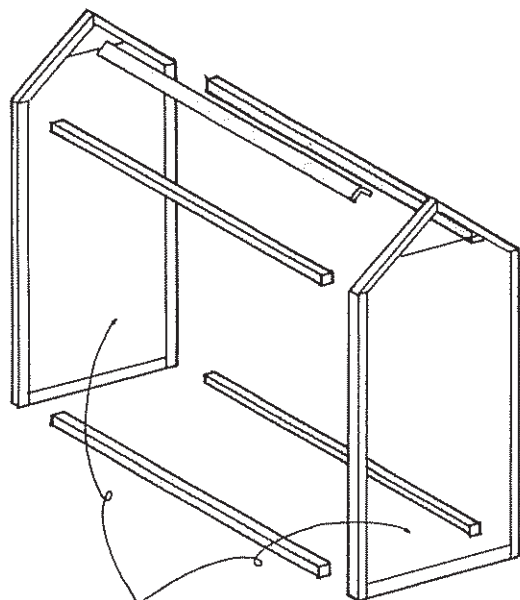
名 称	形 状	寸 法	数 量
⊕ナベタッピンネジ		M 4 × 40	12本+予備1本
⊕ナベタッピンネジ		M 4 × 60	8本+予備1本
⊕ナベタッピンネジ		M 4 × 10	13本+予備1本
⊕丸 小 ネ ジ		M 6 × 10	5本
⊕丸 小 ネ ジ		M 6 × 35	1本
六 角 ナ ッ ト		M 6	6ヶ
バ ネ 座 金		M 6	6ヶ
ナ イ ロ ン 座 金		M 6	2ヶ
穴 栓		φ 9	8ヶ+予備1ヶ

STEP

組み立てには、プラスドライバ

STEP1

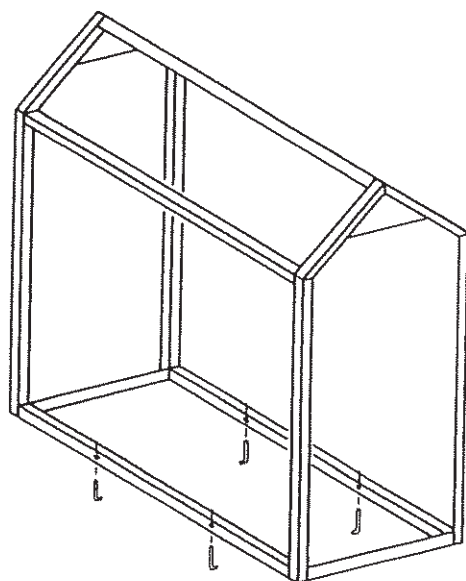
あらかじめ工場で組み立ててある妻パネルに
枠部材を取り付けます。



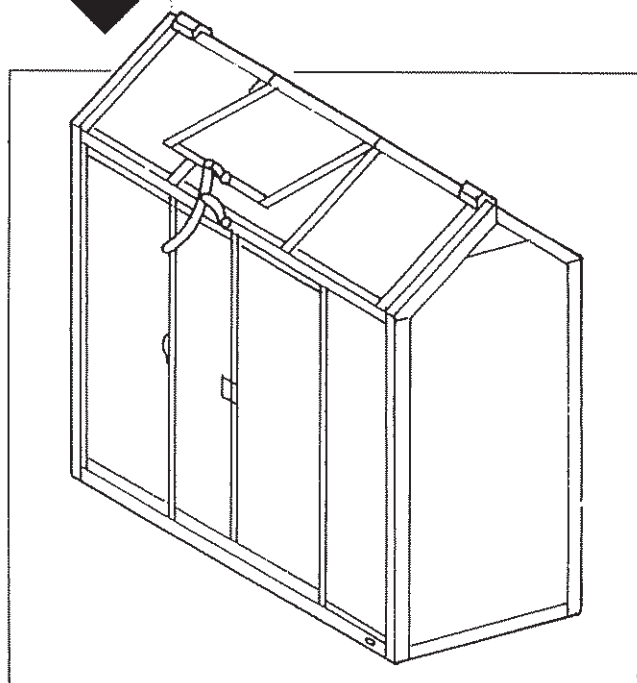
妻パネルはあらかじめ組んであります。

STEP2

本体を地面に固定します。

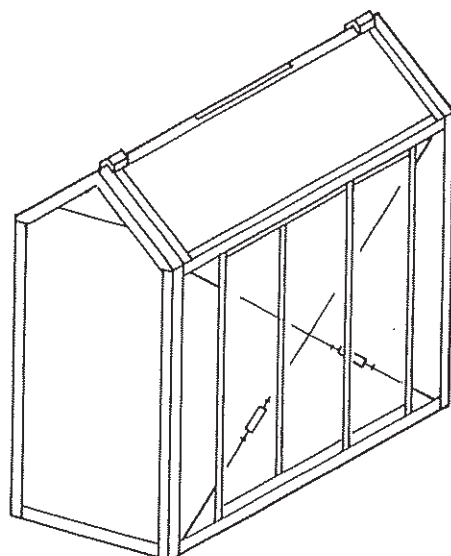


完成



STEP6

ブレースセットを取り付けます。



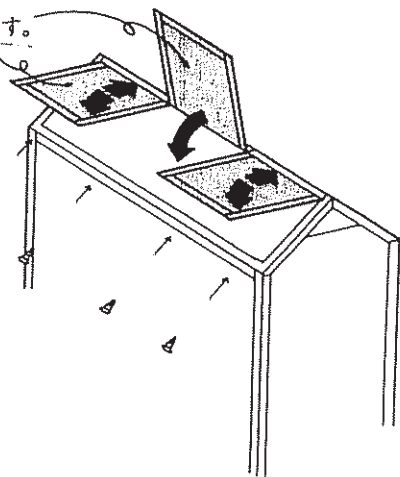
ーとスパナ(#10)を各1本ご用意下さい。

※インパクトドライバー使用禁止(ねじが潰れる恐れあり)

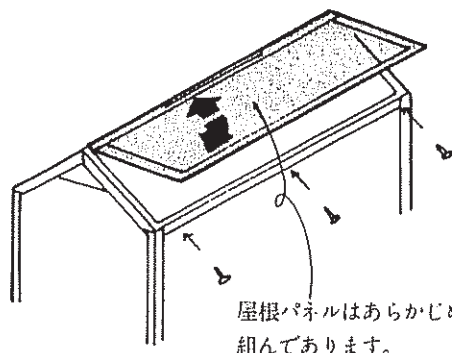
STEP3

屋根パネル・天窓を取り付けます。

天窓、屋根パネルは
あらかじめ組んであります。



水平・直角
の調整



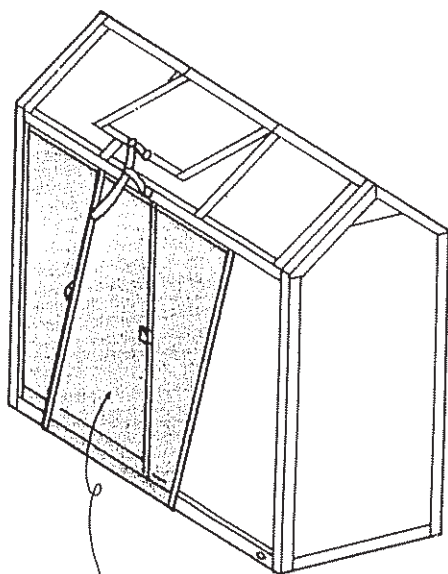
屋根パネルはあらかじめ
組んであります。

STEP4

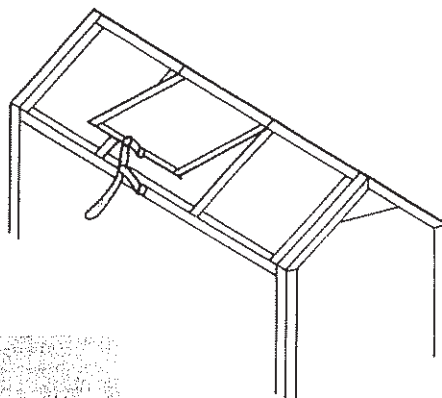
天窓開閉装置を取り付けます。

STEP5

引戸障子を組み込みます。



引戸障子はあらかじめ組んであります。



STEP1

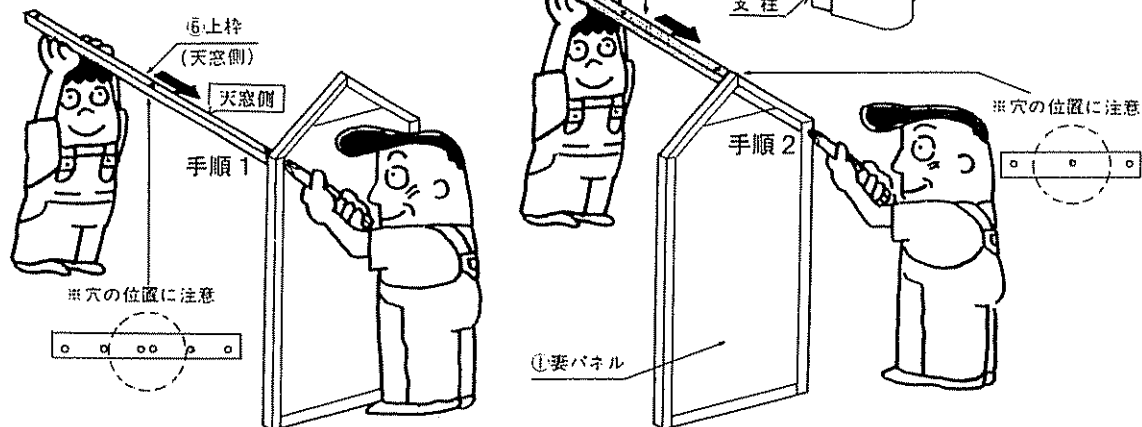
わくぶざいつま 桢部材を妻パネルに取り

1

あらかじめ工場で組み立ててある①の妻パネルに、⑥と⑦の上枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順1、2)

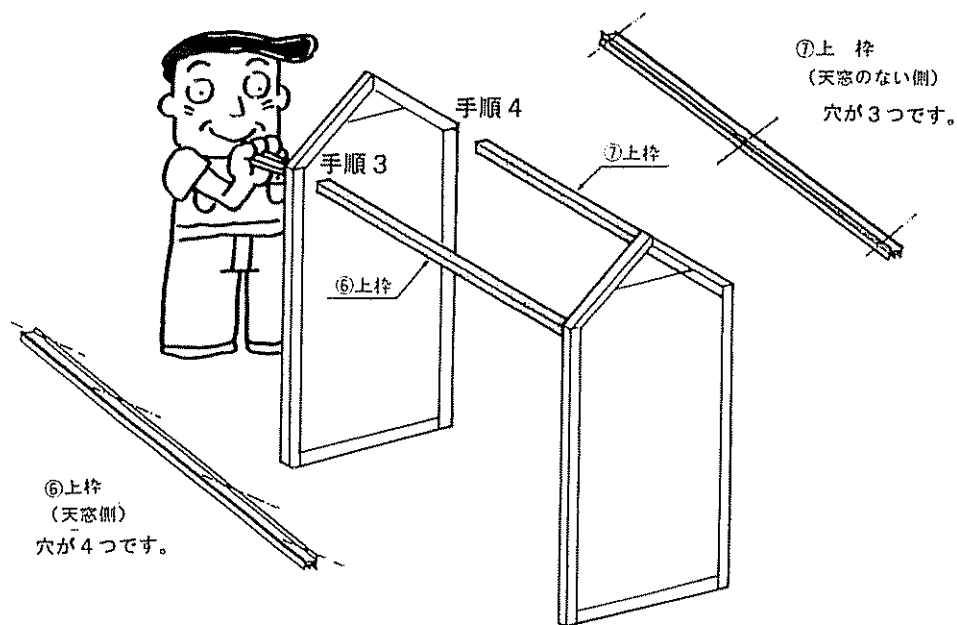
〈上枠は⑥の天窗側と⑦の天窗のない側がありますから、天窗をどちらに付けるかによって選んで下さい。〉

※天窗を取付ける側が正面出し入れ口側になります。



2

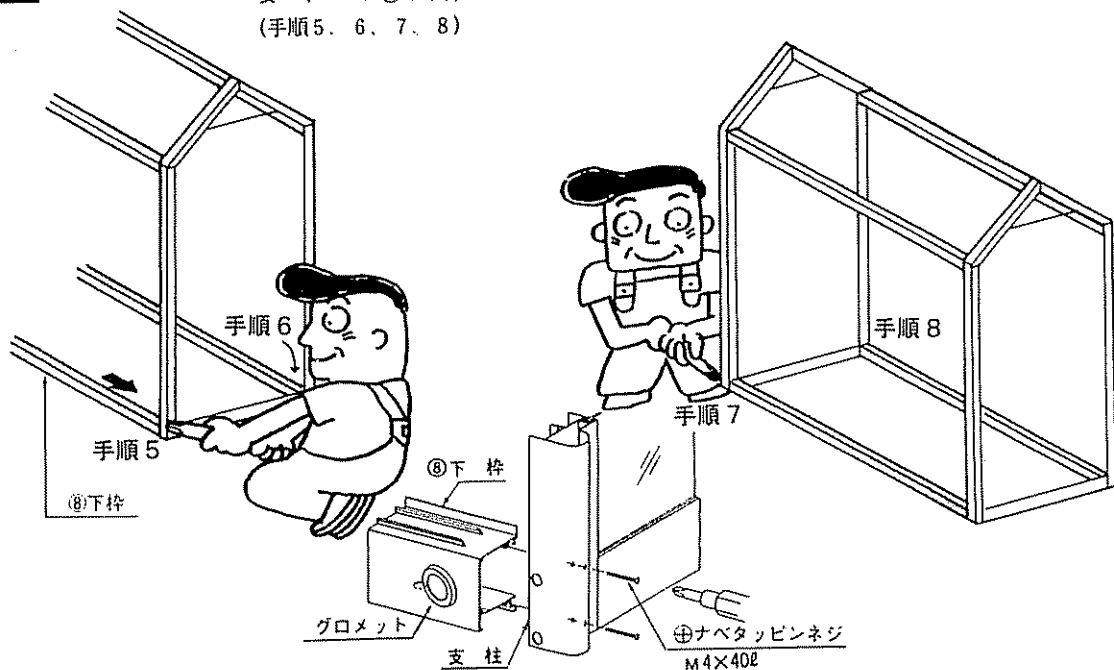
もう一方の妻パネルに⑥と⑦の上枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順3、4)



付けます。

3

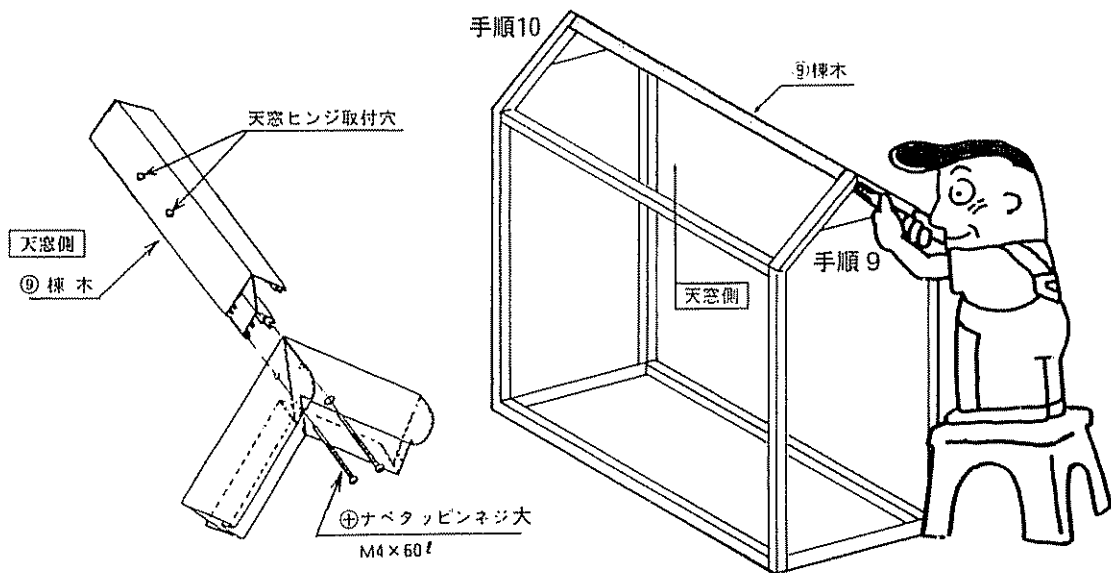
妻パネルに、⑧の下枠2つをナベタッピンネジで締め付けて下さい。
(手順5、6、7、8)



4

小さな台に乗って、妻パネルに⑨の棟木をナベタッピンネジで締め付けて下さい。
(手順 9、10)

〈天窓側に、必ず天窓ヒンジ取付穴が向いているよう注意して取り付けて下さい。〉

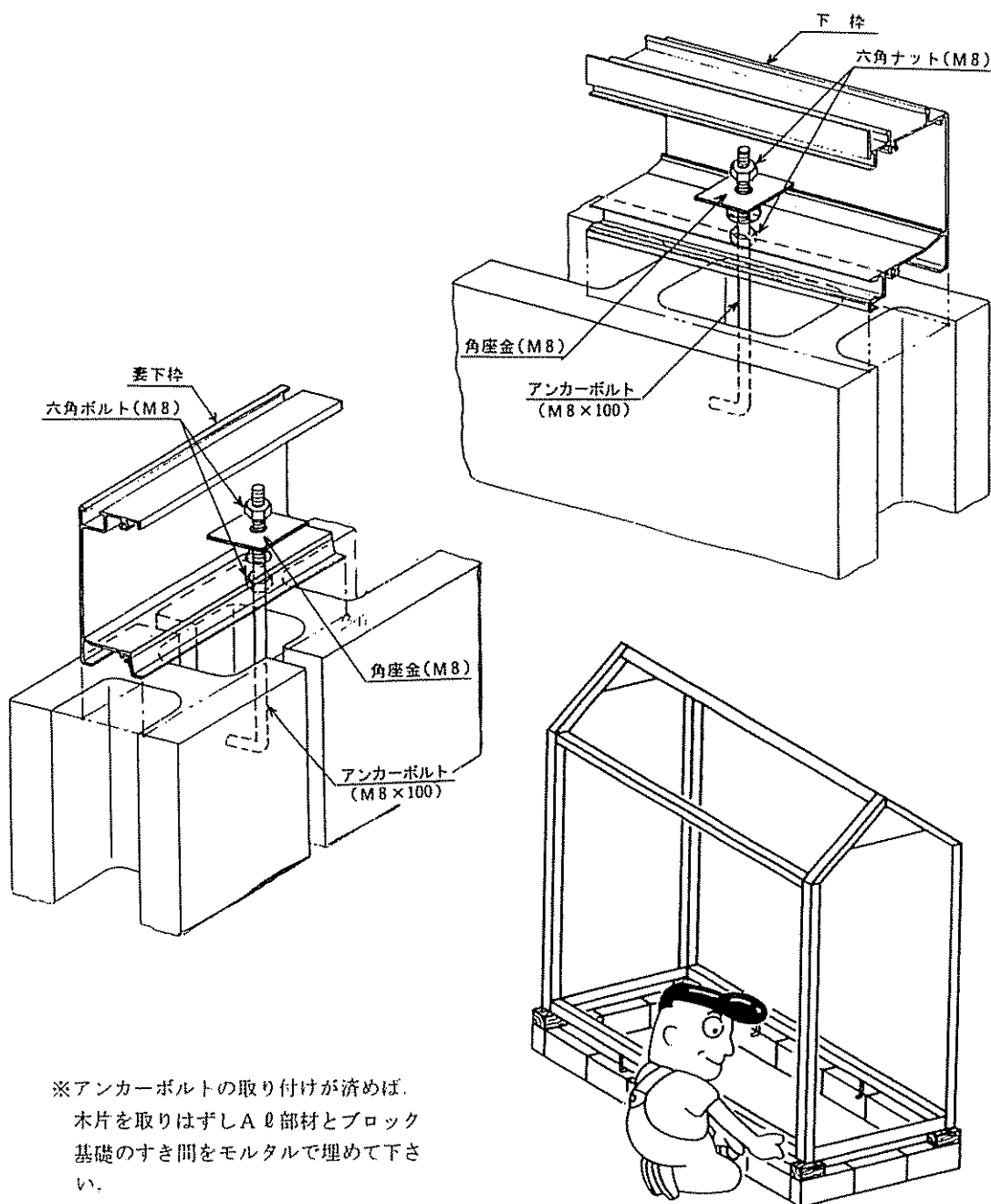


本体を地面に固定します。

1

⑩のアンカーボルトを下枠に、六角ナットで取り付けて下さい。

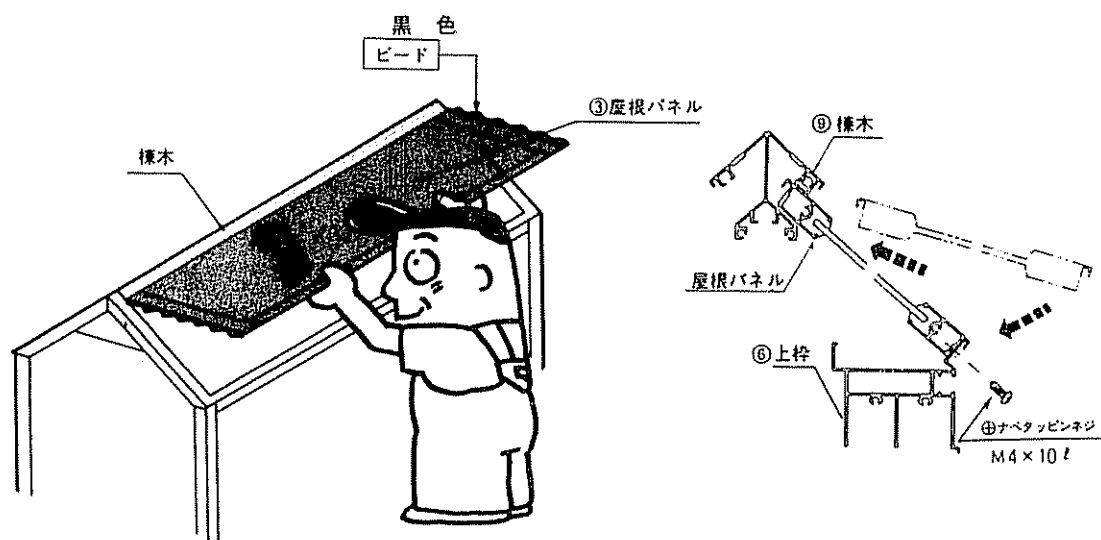
(木片等をかませて支柱を浮かせば、作業が容易になります。)



屋根パネル・天窗を取り付けます。

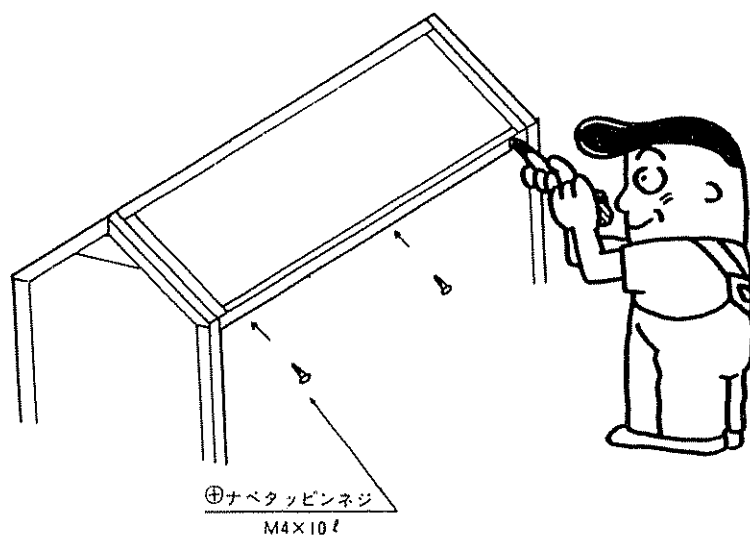
☆屋根パネル(天窗のない側)を取り付けます

- 4** あらかじめ工場で組み立ててある③の屋根パネルを棟木に差し込んでから、下におろすように取り付けて下さい。



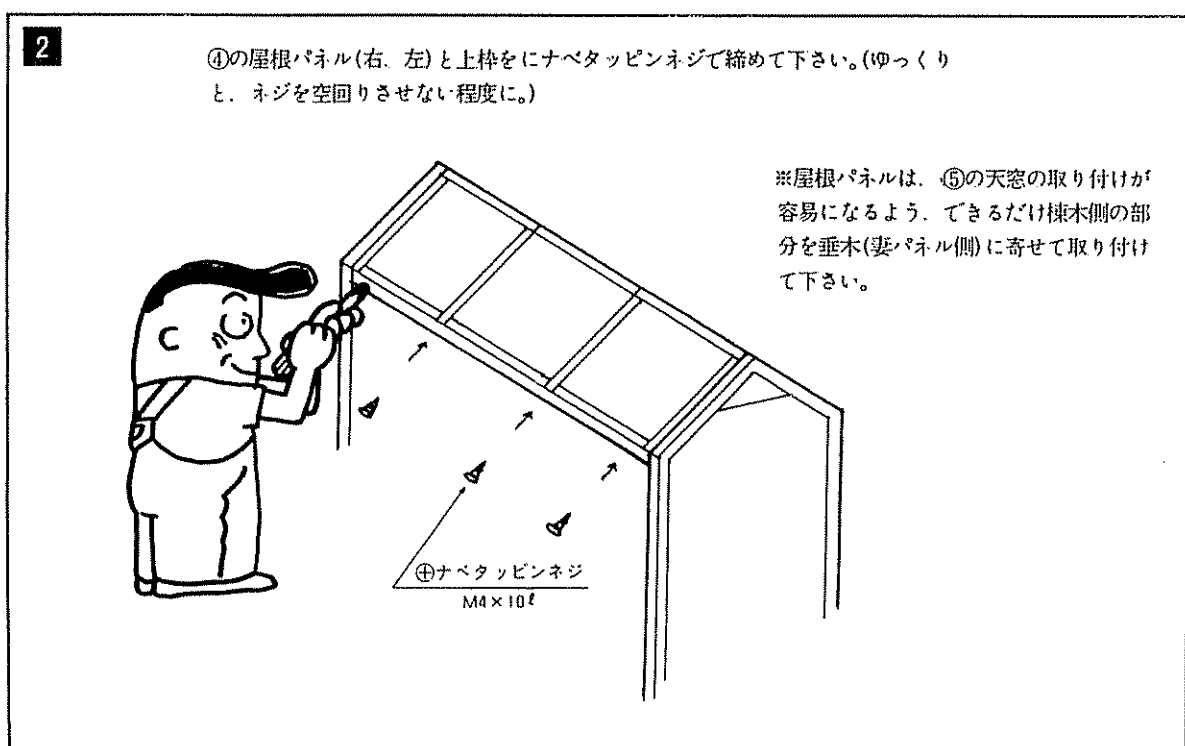
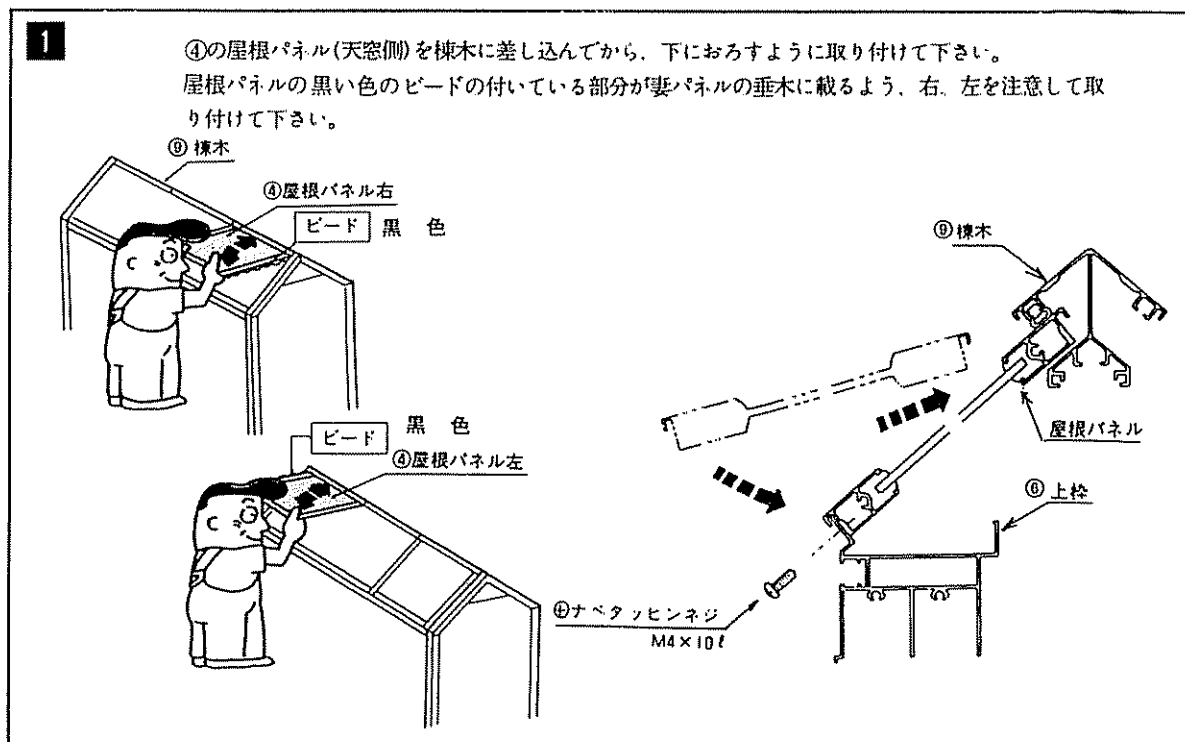
- 5** ③の屋根パネルと上枠をナベタッピンネジで締めて下さい。(ゆっくりと、ネジを空回りさせない程度に。)

※屋根パネルたて桟と妻パネル屋根が平行になるようにして下さい。



てんまど 屋根パネル・天窗を取り付

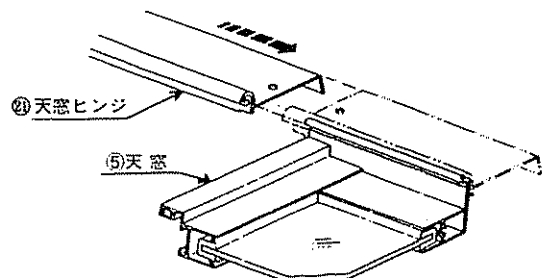
☆屋根パネル(天窗側)と天窗を取り付けます。



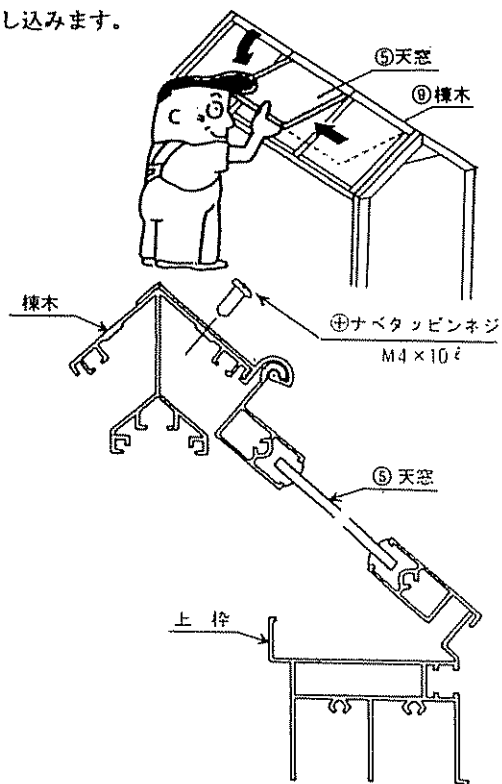
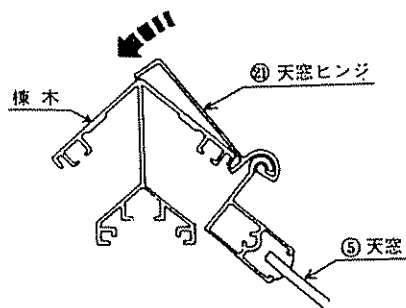
けます。

3

⑤の天窓に天窓ヒンジをスライドさせて差し込みます。

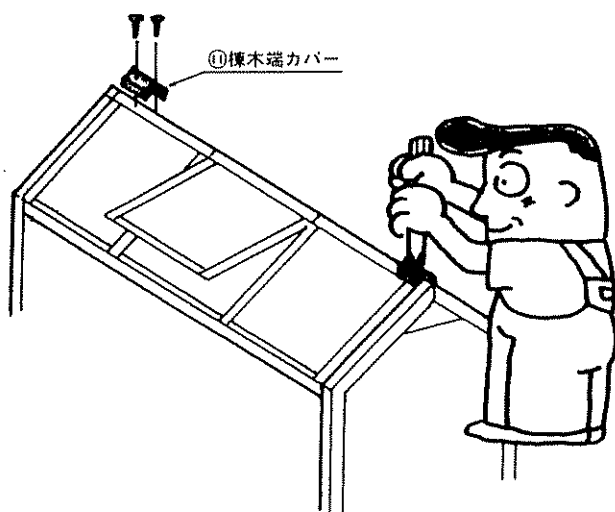
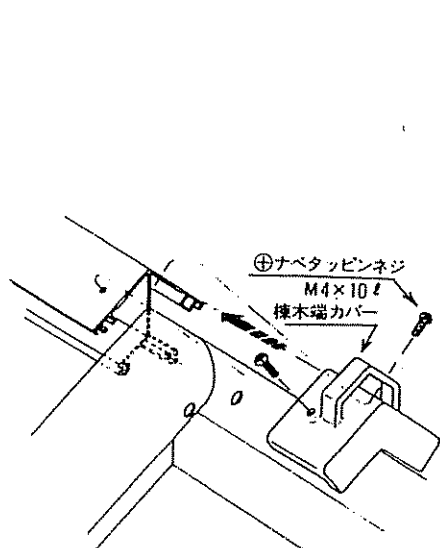


天窓ヒンジを下側からはさむように取り付け、ナベタッピンネジで固定します。



4

屋根パネルを全て取り付けから、⑪の棟木端カバーを両側に取り付けて下さい。



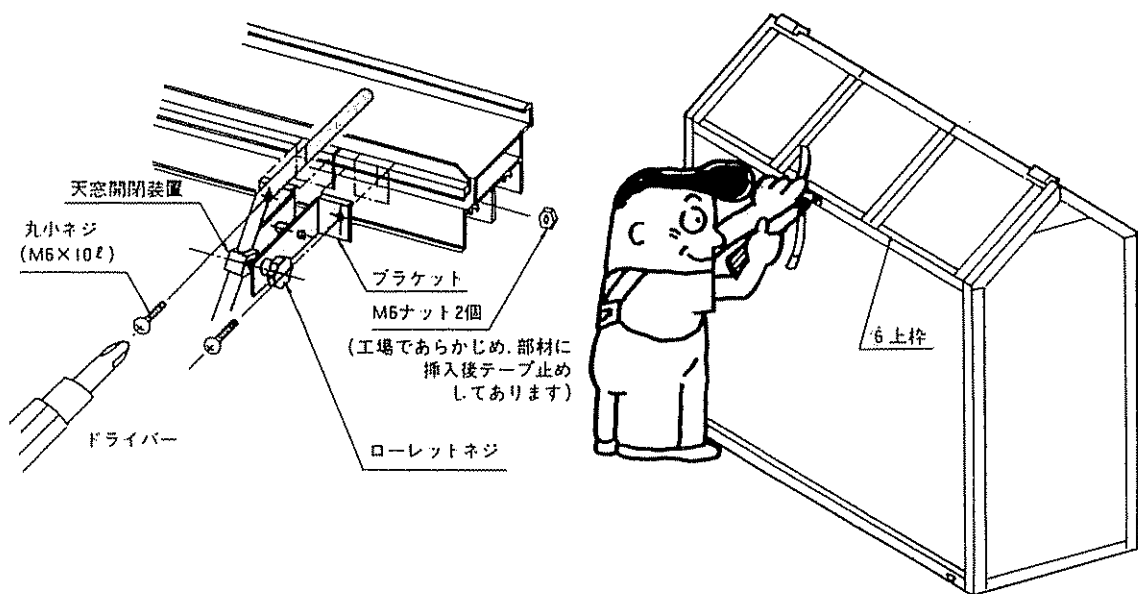
STEP4

て ん ま ど か い へ い そ う ち

天窗開閉装置を取り付けます。

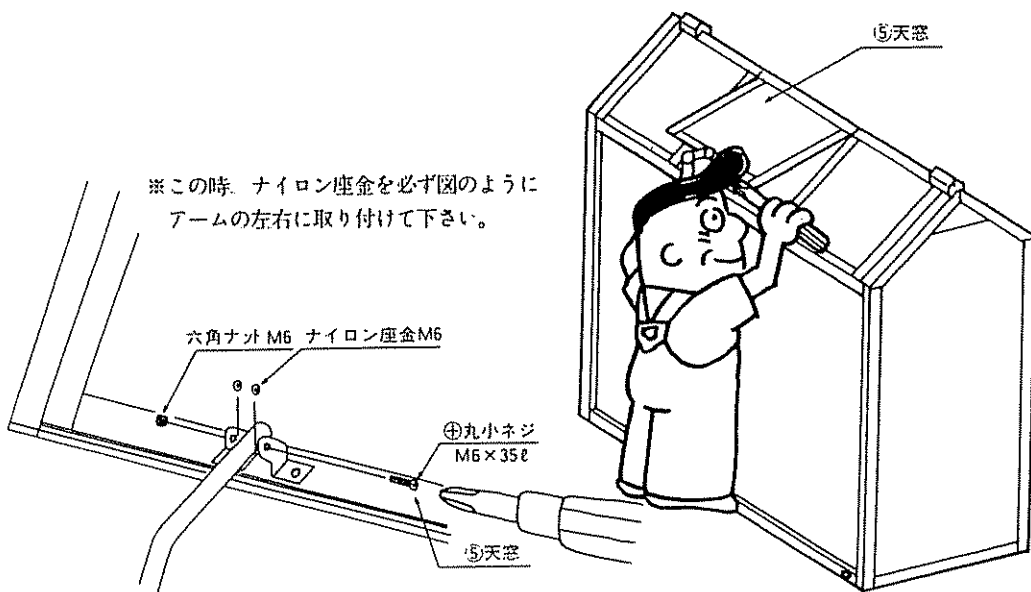
1

まず、⑥の上枠(天窗側)に、⑩の天窗開閉装置のブラケットを取り付けます。
(上枠の内側にタップが切っております。)



2

ブラケットに付いているローレットネジをゆるめ、アームと⑤天窗とを丸小ネジで接続して下さい。

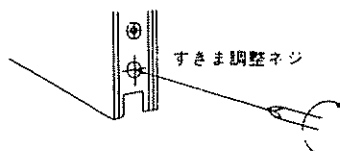
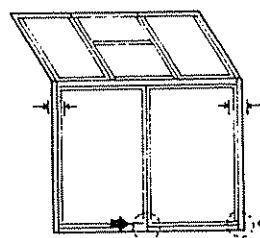
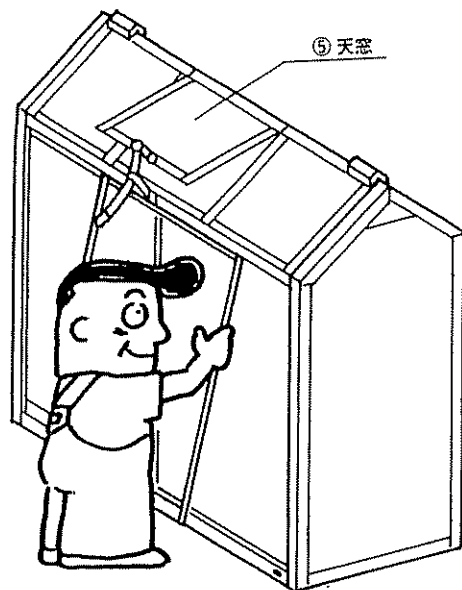


STEP5

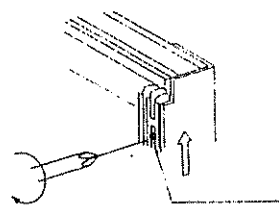
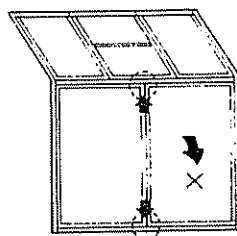
ひきどじょう

引戸障子を取り付けます。

天窗側に②の引戸障子をクレセント(カギ)が外側になるように、上枠に差し込みながら取り付けて下さい。
※天窗側が、出し入れ口となります。



②引戸障子の下部にある戸車の高さをドライバーにより調節し、引戸障子と支柱の隙間をなくして下さい。

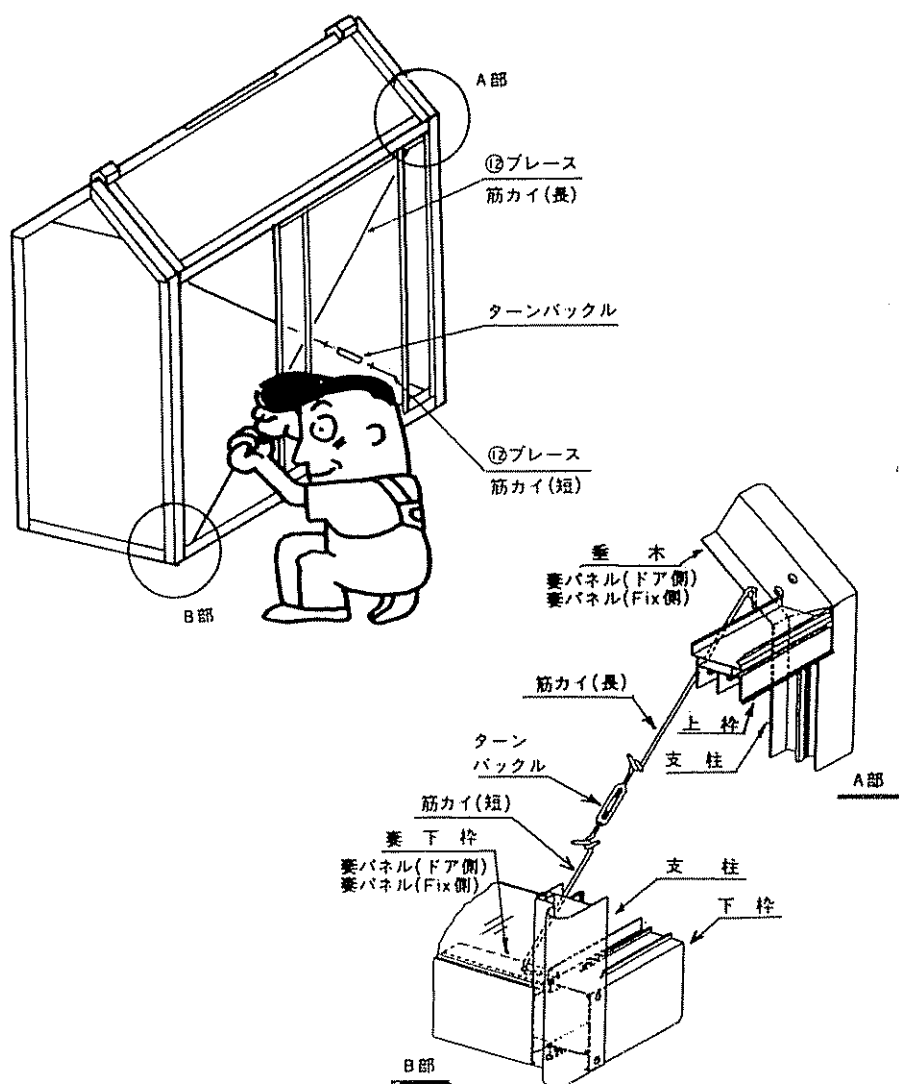


②引戸障子の中框(室内側)の上下に、障子外れ止めが付いていますので、それぞれ、上枠および下枠に引っ掛けて下さい。

ブレースセットを取り付けます。

1

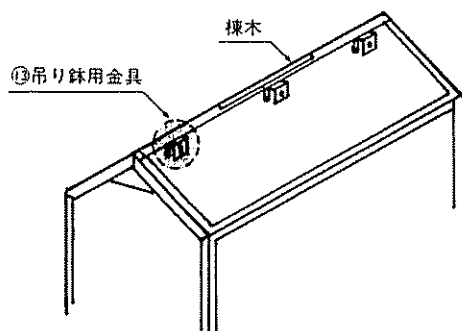
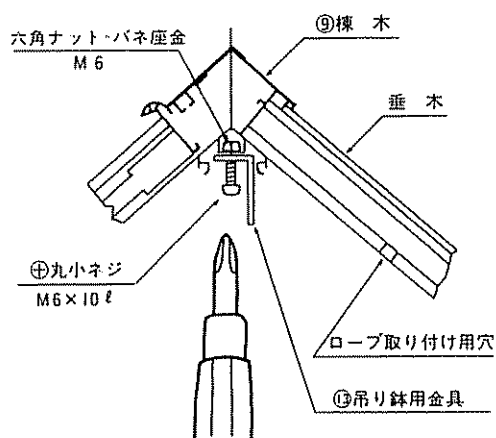
⑫のブレースセットは、垂木と妻下枠の穴に引っ掛けて取り付けして下さい。ブレースセットは、天窗側の引戸障子が正面出し入れ口になりますので、反対側に付けるよう注意して下さい。



※ブレースセットは垂木と妻下枠の穴に引っ掛けて取り付けして下さい。
 ※ターンバックルについているボルトをできるだけ長く伸ばすと取り付け作業が容易になります。

その他部品の取り付け

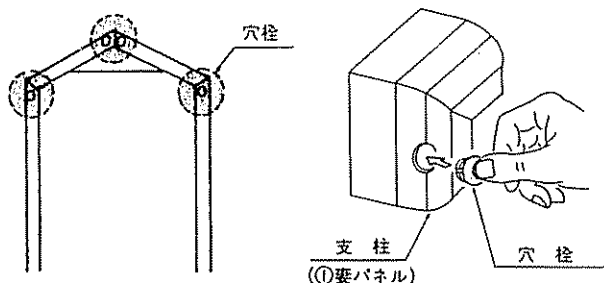
吊り鉢用金具の取り付け



※③吊り鉢用金具を丸小ネジで棟木に取り付けて下さい。⑨棟木の下側両端の切り欠き部から図の要領で差し込み、適当な位置でネジを締めて下さい。

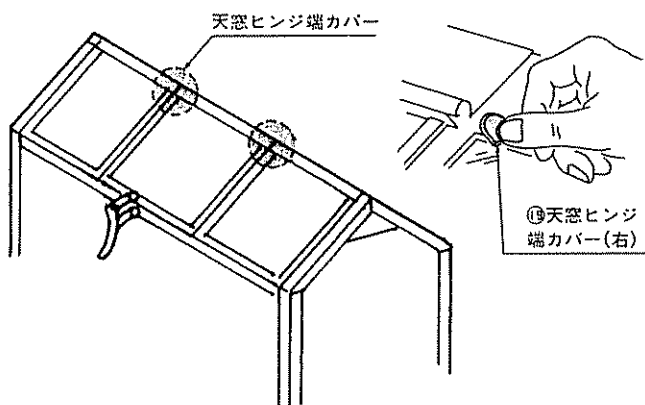
※垂木(①要パネル)の中央にあいている穴にロープを引っ掛けて、吊り鉢用を利用して下さい。

穴栓の取り付け



穴栓を支柱の穴に取り付けて下さい。
また垂木の穴にも取り付けして下さい。
※取り付け穴は合計8ヶ所あります。

天窓ヒンジ端カバーの取り付け



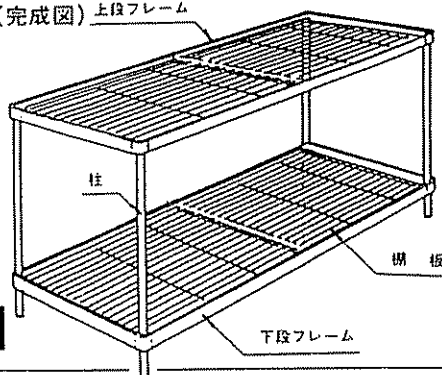
※⑩天窓ヒンジ端カバーを図の要領で取り付けて下さい。⑩天窓ヒンジ端カバーは切り込みの位置により、(右)用と(左)用があります。

オプションの園芸棚を組み立てます。

ファミリータイプ15型

正しく組み立てていただくために、手順に従って組み立て作業を行ってください。

① 本体(完成図) 上段フレーム



② 梱包数量表

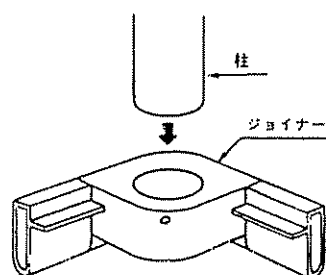
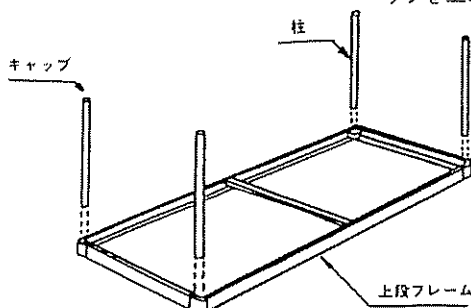
15型

幅 683
×
長さ 1482
×
高さ 900mm

柱	数量4	上下段フレーム数量2
棚板	数量4	M5×6ナベ小ネジ
		数量8

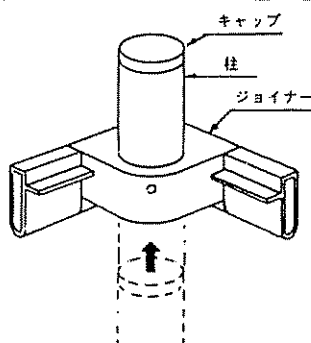
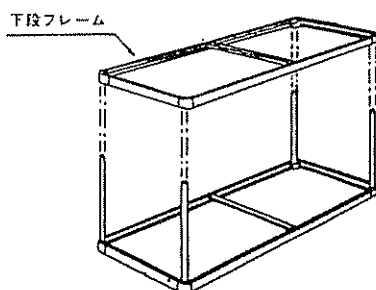
③ 柱と上段フレームの仮組み

上段フレームをひっくりかえて平らな面に置き、ジョイナーにキャップを上にした柱を差し込んで下さい。



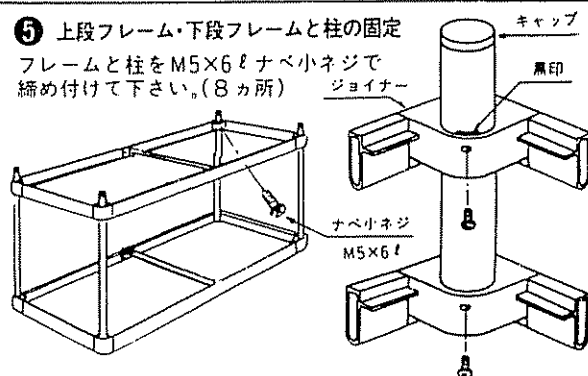
④ 柱と下段フレームの仮組み

下段フレームをひっくりかえて、ジョイナーに柱を通します。

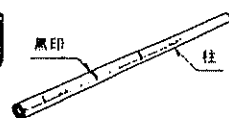


⑤ 上段フレーム・下段フレームと柱の固定

フレームと柱をM5×6 ナベ小ネジで締め付けて下さい。(8カ所)



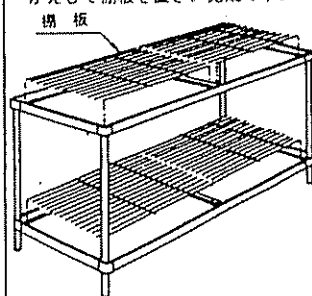
注：柱には3カ所の黒印が打ってあります。



柱の黒印とジョイナーの上面で締め付けて固定して下さい。

棚板の設置

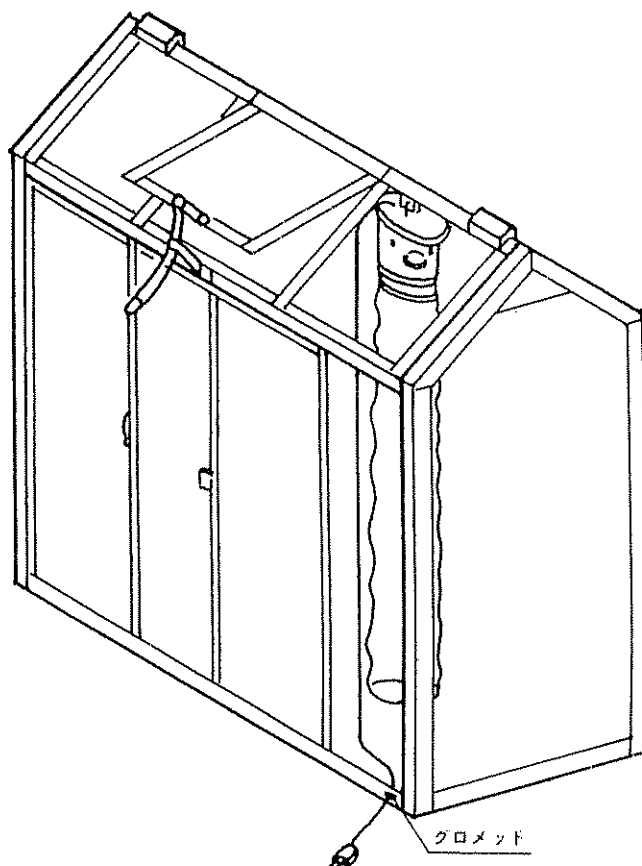
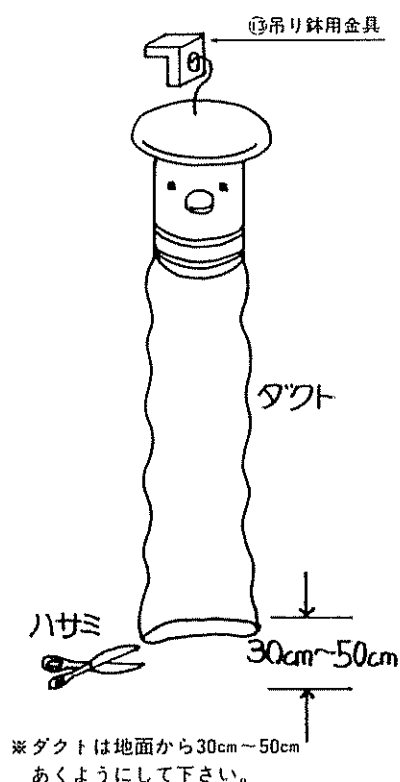
組みあがりました本体をひっくりかえて棚板を置き、完成です。



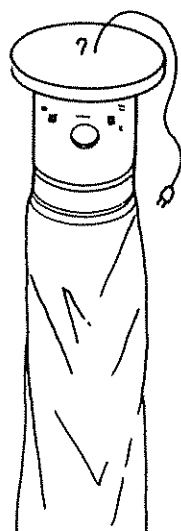
オプションの取り付け方。(その1)

電気温風機 SF 403 T型

吊り鉢用金具にぶらさげ、下枠のグロメットからコンセントコードを出して下さい。



- 寸法：φ150×H230
- 定格負荷：AC100V
- 定格周波数：50/60Hz
- 消費電力：400/200W
- 過熱防止温度ヒューズ付(180℃)
- サーモスタート内蔵式(5~35℃)
- 付属部品付



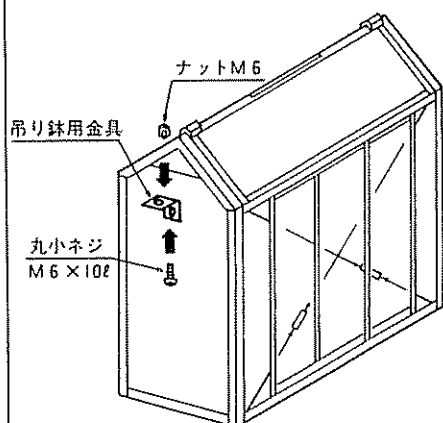
電気温風機 SF 403 T型については取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。

オプションの取り付け方。(2)

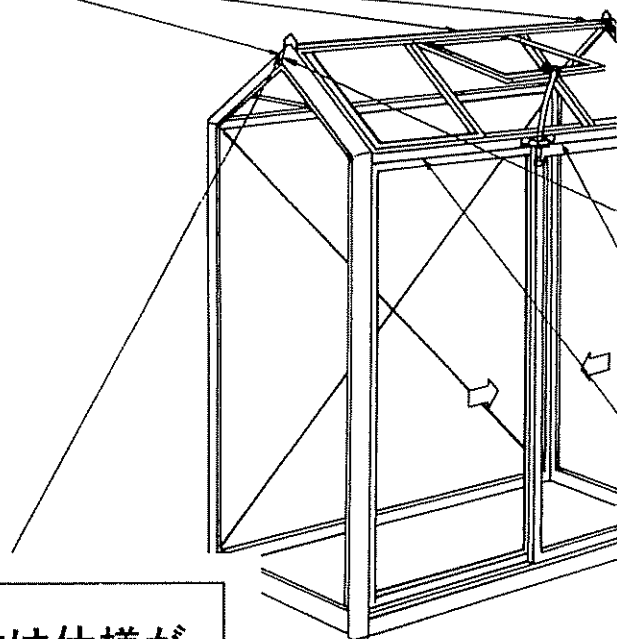
日除けカーテン 番号順に取り付けて下さい。

※内側に日除けカーテンを取り付けます。

1 吊り鉢用金具の取り付け



※吊り鉢用金具を棟木の下側の両端にある切り込み部から差し込んで下さい。
棟木の中点と両端にそれぞれ取り付け下さい。



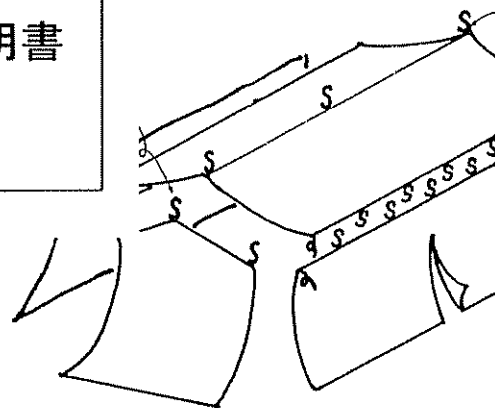
5 日除

日除カーテンの取付は仕様が
変わりましたのでオプション
梱包に入っている取付説明書を
御参照下さい。

カーテンフック



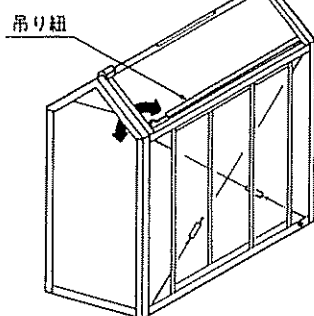
※カーテンフックを吊り鉢用金具に引っかけて下さい。
両肩部のカーテンフックは吊り紐に取り付けて下さい。



- 寸法：W700×H1800×D1560
- ダイオネット 遮光率60～65%
- 取付部品付

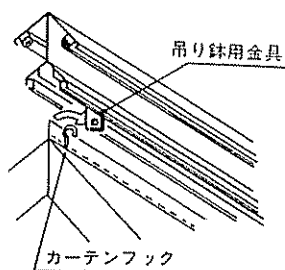
の2)

2 吊り紐の取り付け



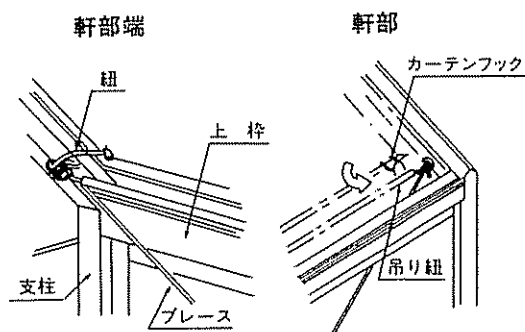
※垂木のブレース取り付け用穴に吊り紐を2本引っ掛けて下さい。

3 日除け(棟部)の取り付け



※カーテンフックを3ヶ所、吊り鉢用金具に引っ掛けて下さい。

4 日除け(軒部)の取り付け



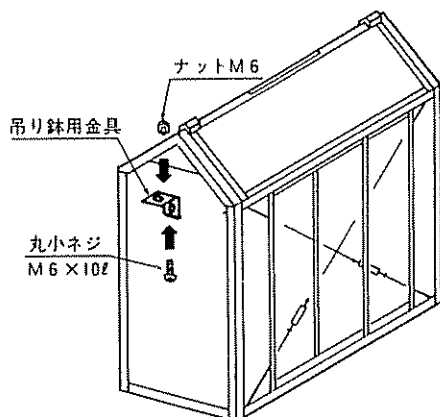
※端部の紐をブレースの先端に結んで下さい。

※カーテンフックを5ヶ所、吊り紐に引っ掛けて下さい。

オプションの取り付け方。(そ

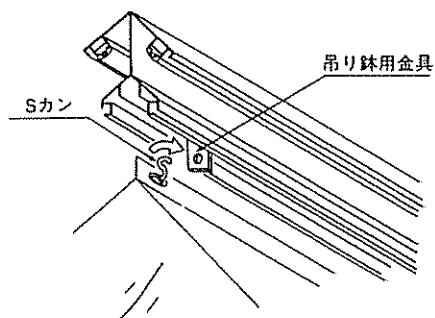
保温カーテン 内側に保温カーテンを取り付けます。番号順に取り付けて下さい。

1 吊り鉢用金具の取り付け



※吊り鉢用金具を棟木の下側の両端部にある切り込み部から差し込んで下さい。
棟木の中央と両端に計3ヶ所取り付けして下さい。

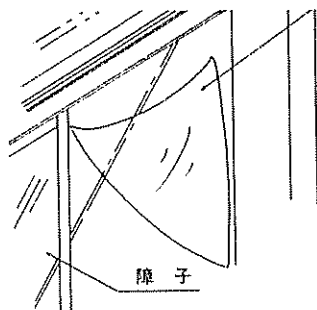
2 棟部の取り付け



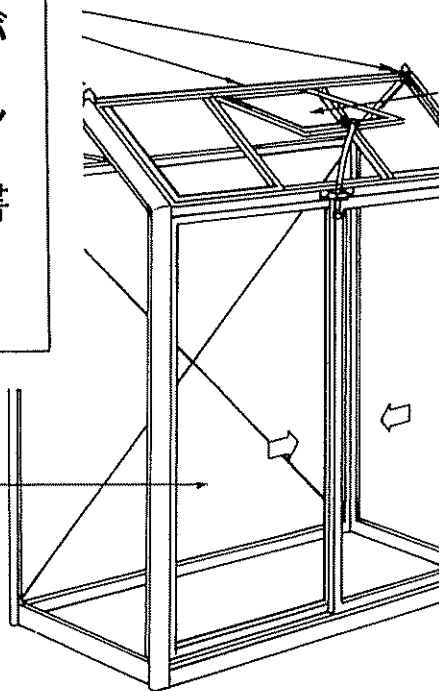
※Sカンを3ヶ所吊り鉢用金具に引っ掛けて下さい。

保温カーテンの取付は仕様が
変わりましたのでオプション
梱包に入っている取付説明書
を御参照下さい。

5 マジ



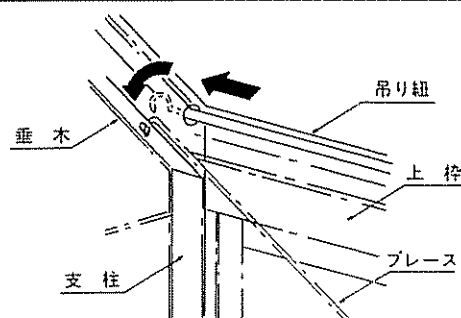
※鉢の出し入れの際に便利のように、めくり上げた保温カーテンを予備のマジックテープを使って止めて下さい。



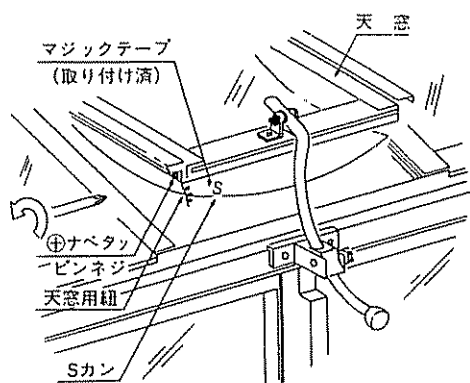
の3)

3 軒部の取り付け

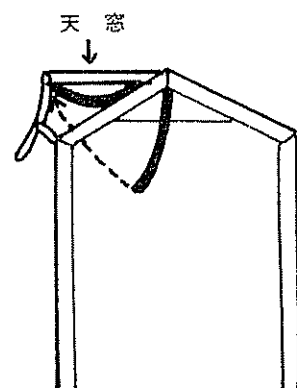
※保温カーテンの穴に吊り紐を通し、垂木のブレース取り付け用穴に2本引っ掛けて下さい。



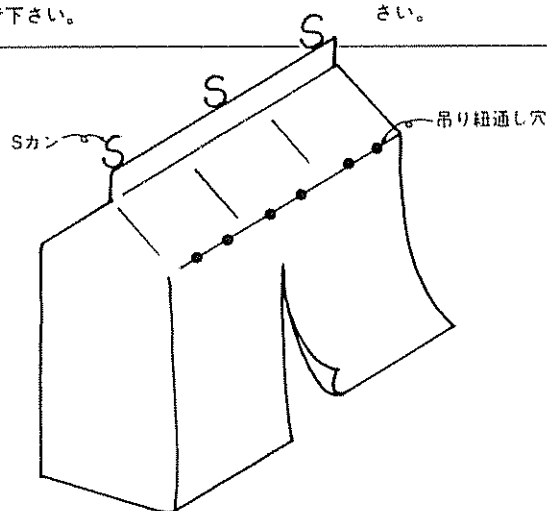
4 天窓部の取り付け



※図の要領で天窓の下枠を止めてある⊕ナベタツピンネジをゆるめ、天窓用紐とSカンを使って、保温カーテンのフタと継いで下さい。



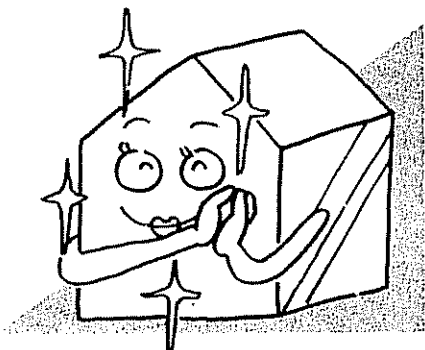
※天窓を閉めた時には、マジックテープを使って、しっかりフタをして下さい。



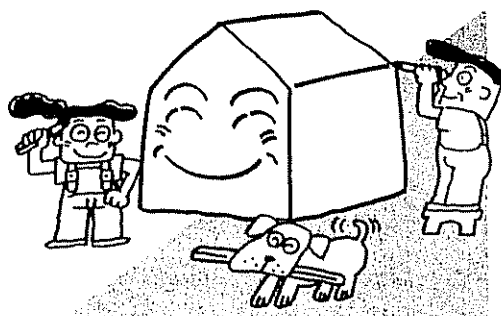
- 寸法：W700×H1,900×D1,560
- 塩化ビニール厚さ0.1mm
- 取付部品付

これで安心、プチカ5の気くばり

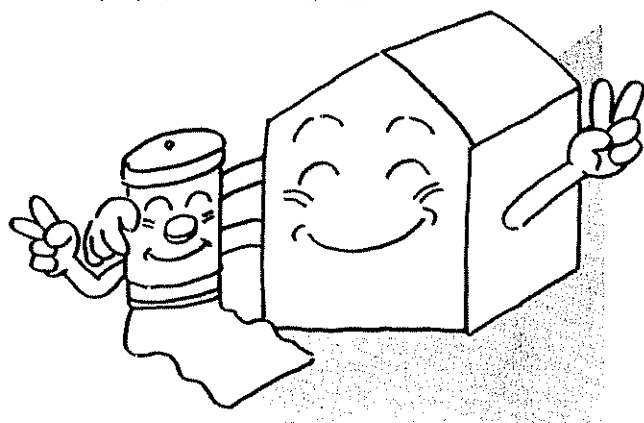
☆いつまでも新妻みたいに美しい!?



☆私にも手伝わせて下さいナ!?



☆1年中、I Love 植物!



●暖房器は、熱源に電気を利用するものと、白灯油を用いる暖房器がありますが、「プチカ5」には、専用の電気温風機が最適です。

●構造材(アルミフレーム)は、耐食アルミ合金押出型材に耐食アルマイト処理をした上、ホワイト電着塗装したもので、サッシ窓と同じものです。いつまでも光沢のある美しさを保つことができます。

●取扱いには、キズをつけないように注意して下さい。汚れはぬれぞうきんできれいにふきとれますが、定期的には中性洗剤を使って水洗いして下さい。

●園芸棚は木製や鉄製の物が市販されていますが、腐ったりサビたりしますので、アルミ製専用園芸棚をお勧めします。(棚板も鉄に樹脂コーティングしてありますので、サビ等の心配はありません。)

●「プチカ5」は、強化ガラスを組み込んだパネル式ですから、プラスドライバーとスパナ(#10)で誰にでも組み立てられます。組立時間はご夫婦で約2時間。ご家族で楽しみながら作業して下さい。

(天窓側が風下の方になるように設置して下さい。)

●面積に対し背が高い(約2000mm)ので、設置する時には必ずアンカーを打ち込んで下さい。地面が軟弱な場合はコンクリートで補強して下さい。(土間や屋上に設置する場合は、ブロック基礎を敷いてお建て下さい。「プチカ5」の本体重量は107kgです。)

●強風時には必ず引戸障子。天窓を閉め、ワイヤーやロープで、棟木端カバーと壁等とをしっかりとつないで下さい。

●ガラスは、普通ガラスより3倍の強度がある強化ガラスです。ご使用中、万が一破損した場合は、ガラス店の普通ガラスでもかまいませんが、お買い上げ店かメーカーに連絡して強化ガラスを注文するようにして下さい。

●暖房器は冬場だけの利用でなく、夏場でも利用できるサーキュレーター方式(ヒーターが止まり、ファンだけが回り風を送る)のものが便利です。「プチカ5」専用のSF403型(0.5坪用)は、サーキュレーター方式に加え付属のダクトをセットして棟から吊り下げて使用すると、風が循環して温室内の上下温度差を解消し、暖房費が10~20%節約できます。(ダクトは下から30cm~50cm間をあけるようにして下さい。また、棟(吊り鉢用金具)から吊り下げますので、設置スペースがいらず、温室内が有効に利用できます。

●電気温風機SF403型(0.5坪用)400Wの電気代は、12時間/日稼働とし、@30円/1kWで@144円/日かかります。一ヶ月で4,320円。シーズン5ヶ月で21,600円になります。(一般的には、白灯油100%とすると、都市ガスは193%、L.Pガス270%、電気447%になります。)

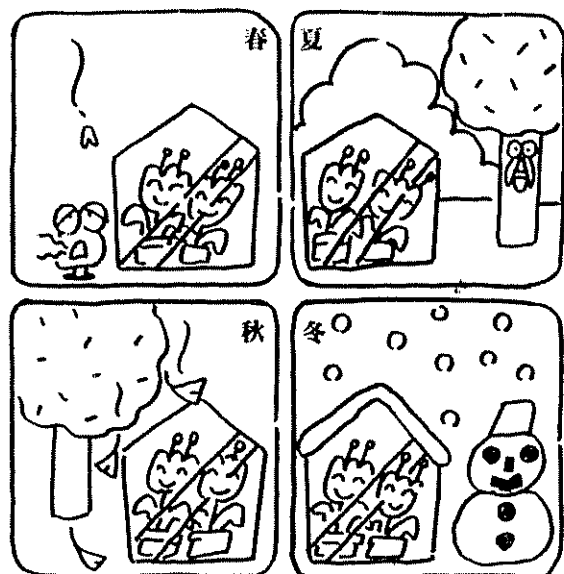
●0.5坪温室で、外気温に対し10℃の差を設けるには通常500kcal~1,000kcal(1kW=860kcal)を必要とします。

●電源コードの差し込みは、家の中からか、屋外に取り付けるかを電気屋さんに相談して下さい。(屋外の配線は漏電等にご注意下さい。)

●5月頃から9月頃にかけては、暖房器は不要になります。不要時には、暖房器を取りはずし、清掃して片付けておくことをお勧めします。

メニュー。

☆電気温風機は「プチカ5」と名コンビ！



●設置は陽の当たる東側か南側が最適です。花や果物の栽培をより効率よくするためには、一般的に日中18℃～25℃、夜間12℃～15℃が快適温度ですから、季節に応じて温度管理を行って下さい。

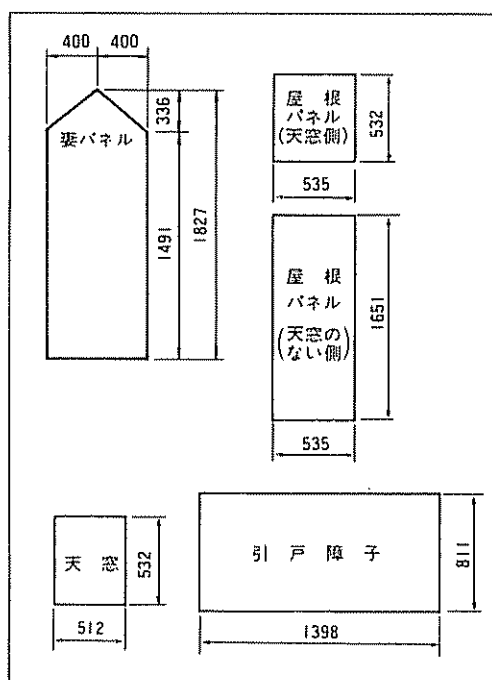
春秋	特に気候の変化が激しい季節なので、日除け、保温カーテンを併用するようにして下さい。
夏	引戸障子を取りはずしたり、天窓を開けて通気性を良くし、直射日光を防ぐ日除けカーテン（遮光率60～65％）を取り付けるようにして下さい。
冬	温暖地、寒冷地によって違いますが、電気温風機、保温カーテンを併用して温度管理をするようにして下さい。（保温カーテンは保温効果が大きく、電気代の節約にもなります。） また、電気温風機の容量が足りない場合は、使用電気温風機の個数を増やして下さい。

※乾燥気味の時には、温水のスプレーで葉面散布して湿度を保って下さい。湿度は一般に60～70％が理想です。（晩秋から初春にかけては午前中に散布するようにして下さい。）

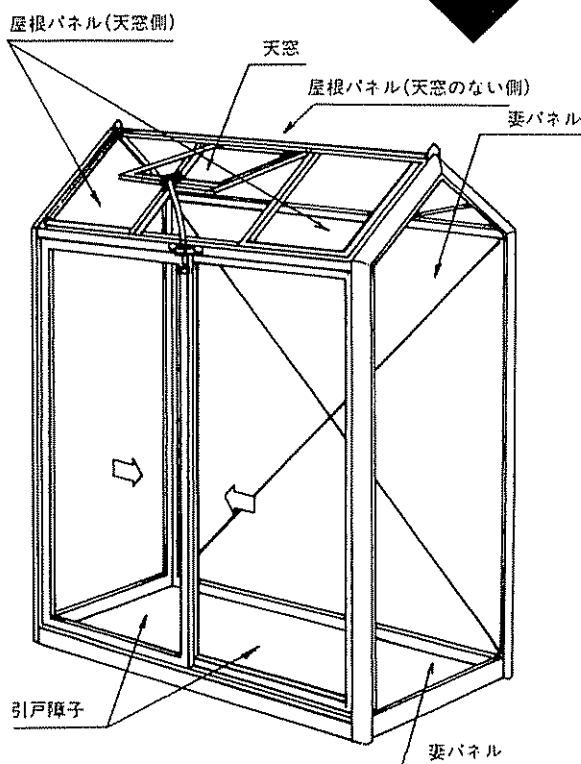
■アフターサービス

万が一故障したり、部品が破損、紛失した場合は、遠慮なく購入店に連絡してください。

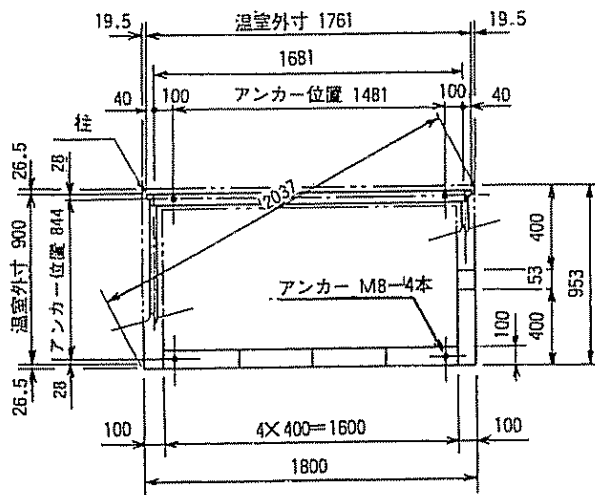
ガラス寸法図



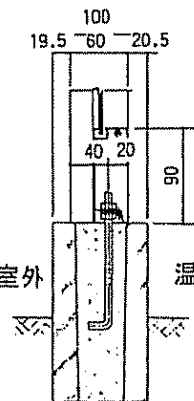
完成図



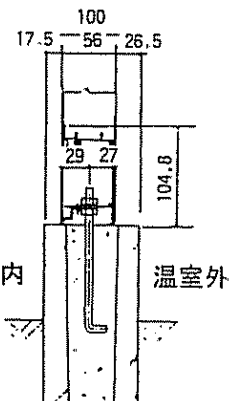
■ ブロック基礎寸法図



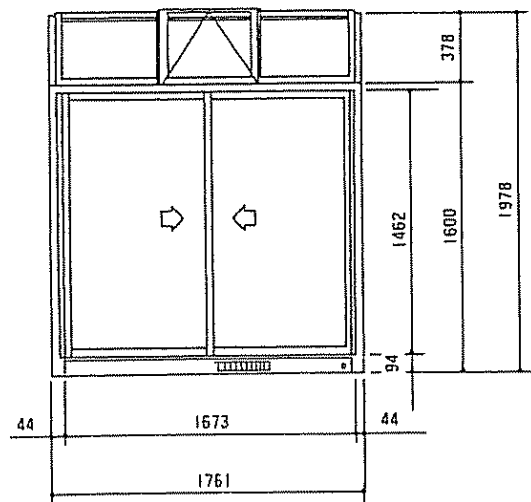
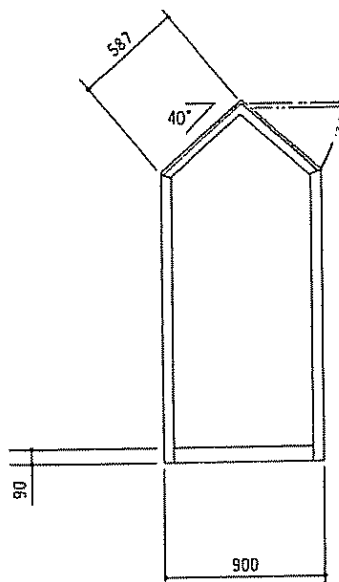
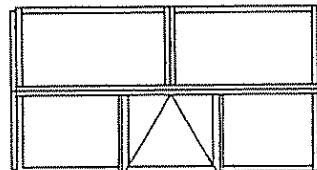
ブロック基礎 ドア側



ブロック基礎 サッシ側



■ 完成寸法図



ピカ コーポレイション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

※この組立のしおりの無断転用を禁じます。

719680401382